



市民協働研修を終えて

9月4日(月)実施

稲城市は、令和4年度より人事課の取り組みの一つとして市内各所の事業所に新人と5年経過の職員を派遣して交流・研修をする事業をしています。

今年度は、市職員5名の方が福祉センター会食会を見学、昼食を共にしボランティアや利用者さんとの対話の時間を持ちました。

そして、午後からはみのり拠点に移り、「支え合う会みのり」の歴史や活動目的などを説明しました。さらに、現場で配食弁当の調理過程や配達スタッフによる安心安全なお届け方法などを間近で見て、理解を深めていただく良い機会になったと思います。



市民協働研修として会食会に参加されるのは、初めてだけれど「栄養満点」のお食事を喜ばれていました。利用者さんとの交流も和やかで、まるでお孫さんとお話しているようでした。
会食会リーダー；内田さん

<ボランティア、利用者さんと一緒に昼食会>



「会食会に参加している方と話すのが楽しい」「外出の機会が増えた」等とおしゃっていたお話を伺い、みのりさんの活動で高齢者の方の交流の場や外出の機会になっていると思いました。活動の目的に「支え合いの精神で～」とありますが、研修に参加させていただき、実際にボランティアの方の活動等を拝見したことで「支え合い」を強く実感することができました。

人事課：松井さん

会食会や配食サービスの取り組みを通して、高齢者の方達の地域のつながりや生きがいのある暮らしを守っていただいていると強く感じました。今回の研修に参加し、実際の参加者のお話も聞けて大変勉強になりました。
区画整理課：花房さん



<稲城長沼にあるみのり拠点にて活動内容を説明>

利用者の方々が家族のように会話を楽しみ、毎回利用されている方もいらっしゃることに驚きました。運営にあたる課題も学ぶことができ、貴重なお時間を頂きましてありがとうございました。
生涯学習課：丸山さん

地域住民がお互いに支え合う仕組みとなっており、とても良い活動だと感じました。今後も高齢者の方々が活躍できる場であってほしいと考えました。
収納課：森さん